

「語りべ」を派遣します

～移植経験者、提供ドナーの話を聞きませんか？～

日本骨髄バンクでは、移植によって元気になられた元患者さん、骨髄を提供されたドナーの方等を、講師として派遣します。自らの体験から「いのちの大切さ」を語る講演会は好評をいただいております。全国で年間100カ所程度開催されています。「語りべ」への謝礼・交通費は、日本骨髄バンクで負担します。

ご関心がございましたら、下記までお気軽にお問い合わせください。



語りべ講演会の会場にて

☆ 講演会参加者から寄せられた声 ☆

「自身の夢や希望に向かい進路選択をしていく高校3年生の生徒には、大変良い学びの場となりました」(高校教諭)

「体験者の生の声を聴いて、感動で泣いている学生もいました。人として、看護を目指す者として自分自身をあらためて考える機会となったようです」(看護学校教諭)

「想像以上に壮絶な闘病生活に何度も涙が出ました。当たり前前に生きているのも当たり前じゃないのだなと気づくことができたので、自分の命を大切に生きていきたいです」(学生)

「今まで注射が苦手な避けてきた献血や骨髄バンクのドナー登録について、もう一度よく考えてみようと思いました。」(学生)

■ 講演会に関するご質問・お問合せ

公益財団法人 日本骨髄バンク 広報渉外部 小島、田中

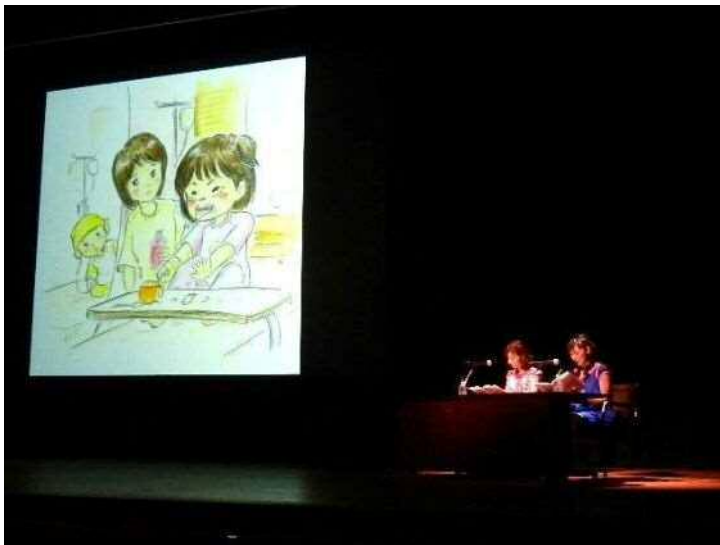
TEL : 03-5280-8111 (平日 9 : 00 ~ 17 : 30) / Mail : pr@jmdp.or.jp

絵本朗読会

「春ちゃんは元気です」

2度の移植を乗り越え、白血病と闘いぬいた4歳の少女の実話をもとにした感動の絵本です。「いのちの大切さ」を語る絵本朗読会を貴校でも開催しませんか？朗読会の謝礼・交通費は、日本骨髄バンクで負担します。

ご関心がございましたら、下記までお気軽にお問い合わせください。



はいだしょうこさん出演による絵本朗読会

『未来医 EXPO 15』（日本医学会総会主催／神戸）



小学校の絵本朗読会

☆朗読会参加者から寄せられた声 ☆

「今、生きているということは、春ちゃんと家族のみなさんがたくさんの方に負けなかったからだと思う。もっと人と人との関わりを大切にしていこうと思いました」（中学生）

「誰もが治してあげたいという気持ちがあっても、すぐに病気を治せるとは限らない。今はまだドナー登録はできないけど、将来少しでも誰かを助けてあげたい」（中学生）

「重い病気をかかえている人がどれだけ大変な思いをしているかを知って、これからはその人たちのことをもっとよく考えて、自分だけでなく周りの人にも気配りしようと思いました」（学生）

「自分にも苦痛を伴う提供であっても、骨髄ドナーになることで助かる人がいて、容易ではないけれど、貢献できるということを忘れないでいたいと思った」（学生）

■ 講演会に関するご質問・お問合せ

公益財団法人 日本骨髄バンク 広報渉外部 小島、田中

TEL : 03-5280-8111 (平日 9:00~17:30) / Mail : pr@jmdp.or.jp